

## 会 議 録

会 議 名	佐野市立かえで義務教育学校開校準備委員会 総務部会 令和6年度 第3回会議
日 時	令和7年1月29日（水） 午後6時30分～午後7時45分
場 所	佐野市立西中学校 1階 第2理科室
出 席 者	<p>【参加者】（21名）</p> <p>別紙「委員名簿のとおり」 （欠席者：1名）</p> <p>【事務局】（計7名）</p> <p>佐野市教育委員会 教育部長 学校適正配置課 課長、係長、係員4名</p>
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第、委員名簿</li> <li>・ 資料1 校章・校旗に関する意見集約の結果</li> <li>・ 資料1－2 佐野市立かえで義務教育学校《校章・校旗》の制作について</li> <li>・ 資料2 校歌に関する意見集約の結果</li> <li>・ 資料2－2 佐野市立かえで義務教育学校《校歌》の制作について</li> <li>・ 資料3 令和7年度の総務部会について（引継ぎ事項）</li> </ul>
委員会内容	<p>委員会の内容については以下のとおり。</p> <p>1 開会 司会（学校適正配置課長）</p> <p>2 議事</p> <p>（1）校章・校旗について（意見集約の結果および制作方法の決定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局から資料1、資料1－2を基に説明。</li> <li>・ 委員からの質疑等は以下のとおり。</li> </ul>

委員会内容	<p>(委員①) 学校は地域の象徴であるが、あくまでも主役は児童生徒であると考えている。まずは、児童生徒の思いを入れるのが大切であると感じている。例えば、校章・校旗は、しっかりとしたものを制作することは難しいが、デザインの一部として反映する。校歌は、地域によって取り入れたいワードがあるかもしれない。まずは、そのあたりを吸い上げて活かせるような作り方ができたら主役である児童生徒のためにも良いと考えている。</p> <p>(委員②) 第1回の会議では、各団体で持ち帰り、集約した意見を今回の会議で発表する流れであると認識していたが、今回の資料を確認したところ、個人で意見を発表するような流れであると感じられる。こちらの団体では、すでに団体としての意見を集約してきたので、今回、個人での意見を発表するとなると責任を重く感じてしまう。</p> <p>(事務局) 事務局としては、各団体で出た意見を優先して発表していただきたいが、仮に各団体で具体的な意見が出なかった場合は個人の意見を参酌したいと考えている。</p> <p>(委員②) 今回の意見発表に活用する用紙は各団体につきひとつでよかったのではないかな。</p> <p>(事務局) 説明不足で申し訳なかったが、そちらの団体として意見発表できる方法がとることができれば、そのようにしていただきたい。</p> <p>(部会長) 具体的に申し上げると、委員②から、団体の役員会があり、そこで意見をまとめたことを聞いた。しかし、その後、事務局との協議で、団体によってそのような集まりがあるところとないところがあるとの実情を受け、個人の意見も取り入れてみようという結論に至り、このような形式をとった次第である。</p> <p>～質疑終了～</p> <p>(部会長) このあと各学校単位で協議していただくが、その前に委員①の意見を踏まえて説明したい。まず、資料1の意見集約の結果では、「公募内容を踏まえて専門家に制作依頼」が16票、次に「公募せず専門家に制作依頼」に6票入っている。また、自由意見の記載もあるが、多数決だけで決めてしまうと今回集まった意味がないため、少数意見等を含めて検討していただきたい。</p>
-------	--

次に、公募について、例えば、第１段階は児童生徒、第２段階は保護者を含めた地域に公募するなどといった考えもあるため、このような意見を踏まえて校章ができればと考えている。具体的な方法が決まらなかったとしてもある程度の方向性が決まるよう、みなさまには合意していただきたいと考えている。

- ・ 20分間の時間を設けて各学校単位で協議した。
- ・ 協議終了後、話し合いの結果を順に発表した。

【天明小グループ】 公募して専門家に制作依頼

（意見）公募は、最初から児童生徒と地域を含めて行う。専門家に依頼するとしたが、公募の時点でしっかりとしたデザインがあれば専門家に依頼せず、委員会等でデザインを選定して児童生徒や地域を対象とした投票で決める。また、大幅な修正が必要であれば、専門家に依頼する。

【植野小グループ】 公募して専門家に制作依頼

（意見）公募は、最初から児童生徒と地域を含めて行う。児童だけで考えるのは難しいため、地域で募集する。それにより児童生徒の祖父母をはじめ地域に広がっていく。知らずに決まってしまったという状況にならない方が良い。また、地区の公民館でも提出できるよう窓口を広げる。仕上げについては、専門家に依頼する。

【旗川小グループ】 公募して専門家に制作依頼

（意見）公募について、第１段階は児童生徒、第２段階は地域で行う。段階を踏んでデザインを集めるのが良いと考えた。そして、集約したデザインの仕上げを専門家に依頼する。

【吾妻小グループ】 公募して専門家に制作依頼

（意見）公募について、第１段階は児童生徒、第２段階は地域で行う。まずは、児童生徒の意見を最大限に取り入れたい。その後、地域の方々を思いもあるため、募集出来たらよい。また、著作権の関係を含めて、最終的には、専門家に依頼する。

【西中グループ】 公募して児童生徒と保護者の投票で決める。

(意見) 公募は第1段階で児童生徒、児童生徒から集まらない場合は、第2段階で西中学区の地域に公募する。そして、集まったデザインを児童生徒と保護者の投票によって決める。それでも、集まらない場合は、美術の先生や印刷会社に依頼する。

(部会長) 各グループの意見を聞いて、公募する意見は一致している。公募をする上で、段階を踏んでいく意見が多かったが、天明小グループの公募の対象を再度確認したい。

【天明小グループ】 最初から西中学区の地域を含めて行う。

(部会長) 公募の対象について、児童生徒から公募した後に西中学区の地域に公募する意見と、最初から西中学区の地域を含めて公募する意見が出た。どちらの手法にしていくか。

(委員③) タイムスケジュールに余裕はあるのか。

(事務局) 校名の公募を参考にとすると、応募用紙を配り終わるまでに概ね1か月かかり、締め切りまで1か月を確保したため、配布から回収まで約2か月を要した。ただし、募集内容に応じて設定する必要はある。配布経路としては、公民館等への設置や、全戸配布が考えられるが、全戸配布の場合は、広報紙と合わせての配布となるため、事務局としてはさらに1か月前に準備しなければならない。そのような点を念頭に置いていただきたい。全体スケジュールのゴールについては、校章は最終的に校旗を作成することを予定しており、校旗は専門業者が制作するため、1年弱の制作期間が必要となることが多い。よって、令和10年4月開校に向けて、令和8年度末までには校章を決定したい。

(部会長) 2段階で公募しても問題ないということによろしいか。

(事務局) その後の決定プロセスにもよるが、2段階で募集して仮に令和7年度中に校章が決まれば、比較的余裕はできると思われる。

(部会長) 決めていかなければならない事項が多くあるため、なるべく引継ぎ事項は少なくしていきたい。

	<p>(事務局) 今回、制作方法が決まらなかった場合、次回の総務部会は、委員の改選により7月頃が新年度1回目の開催となる。仮に7月スタートでアンケートを行う場合、7年度末頃に決まるか決まらないかという状況になる。例えば、今回まずは児童生徒から集めようということであれば、年度当初から動くことができると考えている。</p> <p>(部会長) 児童生徒への配布は年度当初または今年度中に可能か。</p> <p>(事務局) 配布のみなら可能。ただ、時期によっては学年が上がる関係もあるため、新入生分の枚数を考える必要も出てくる。</p> <p>(委員③) 配布から応募の締め切りまで2か月間しかないのか。</p> <p>(事務局) あくまで、校名のケースを説明したため、必ずしも2か月間というわけではない。ただ、後ろのスケジュールも考慮し、応募期間についても検討する必要がある。</p> <p>(事務局) 補足として、総務部会は開催時期に制約があるため募集期間が短くなってしまう。募集をかけるにしても早めに児童生徒に配ることは可能であるが、地域の方々も対象となると市の事情により広報紙と合わせて配布することになる。全戸配布を行うのであれば、1回で行いたいというのが考えである。また、全戸配布と考えると新年度以降の手続きになってしまうため、先に児童生徒に配布し、その後、全戸配布を行うといった手法をとるなど、方向性が決まればよいと考えている。</p> <p>(部会長) 全戸配布は何月の何週目までにという決まりはあるのか。</p> <p>(事務局) 広報の配布が毎月1日であるが、町会長の準備があるため、前月の28、29日頃までに納品する。また、印刷等の作業に2週間程度かかるため、前の月の上旬を目途に決定しているのであれば配布する準備に取り掛かることができる。</p> <p>(部会長) 1度に全戸配布した方が効率よく時間もかからないということが分かった。公募に際して、先ほどの事務局の考えはいかがか。</p> <p>(委員②) 1回で公募するということは、児童生徒のみかそれとも地域も含めるのか。</p>
--	--

(事務局) どちらの方法でも対応は可能。

(部会長) それについては、これから確認していきたい。1回で行う手法は全戸配布をするということ。児童生徒に対しては広報の配布前に学校から配布する。地域の方にもお知らせするという意味を含めて配布する必要がある考え方もある。ただ、選考する基準はこちらにある。児童生徒のデザインをなるべく取り入れ、それに加えて地域の方々のデザインを取り入れるなどの選び方もある。ひとつだけいいデザインがあってそれを校章にするというのもひとつの考えではあるが、地域によってそれぞれの思いがあるため、上手く組み合わせることができたら良いと考えている。

(部会長) それでは公募について、2段階で行うか1回で行っていくか、再度各学校で協議願いたい。

・約3分間協議

(部会長) それでは、1回で公募するか2段階で公募するか挙手を願いたい。

～挙手の結果、1回で公募するという部会員が多数～

(部会長) 先ほどの協議で広報の配布前に児童生徒に配布できるのであれば、その方法はどうかという意見が出た。その内容を踏まえて公募1回で児童生徒と西中学区の地域に行い、広報の配布前に児童生徒に用紙を配布する方法で進めてよろしいか。

・全部会員から承認を得る。

(部会長) それでは、その方法で進めていく。事務局から説明はあるか。

(事務局) 公募の具体的な内容については、事務局で素案を作成し校長先生方に確認していただくことをご承知おき願いたい。  
また、公募のコンセプトとして部品やワードといった要素を集めるのか、デザインそのものを集めるのか、匿名にするかなどの指定があると取り掛かりやすい。参考にあそ野学園、葛生義務教育学校の場合は、ひとまずアイデアを出してほしいとの

ことで、言葉のみも可とし、氏名の記入欄はあるが、記入しなくても問題ないという方法で募集した。加えて、出てきたデザインをそのまま使用することはないとのただし書きの文章も記載した。

(部会長) 今回もあくまで、アイデアをいただく形で、氏名は記入欄を入れるが、匿名でも可とただし書きを記載する方向でよろしいか。

- ・全部会員の承認を得る。

(2) 校歌について(意見集約の結果および制作方法の決定)

- ・事務局から資料2、資料2-2を基に説明。

(部会長) 先ほどと同様、各グループで協議していただくが、最も票が集まったのは「公募内容を基に専門家に依頼する」という意見。その中で校章・校旗にもあったが、なるべく児童生徒の思いを取り入れたいと考えている。曲そのものを作成することは難しいが、言葉やフレーズを歌詞に取り入れたいという点を含めて協議願いたい。

- ・資料及び部会長の説明について委員からの質疑はなし。
- ・15分間の時間を設けて各学校単位で協議した。
- ・協議終了後、話し合いの結果を順に発表した。

【天明小グループ】 公募して専門家に制作依頼

(意見) 公募はキーワード。作詞作曲はダ・カーポに依頼する。

【植野小グループ】 公募して専門家に制作依頼

(意見) 公募はキーワードとワンフレーズ。かえで義務教育学校の特色を生かしたものが出てくると良い。専門家はダ・カーポもしくは小中学校の教員に依頼する。

【旗川小グループ】 公募して専門家に制作依頼

(意見) 公募はキーワードとワンフレーズ。作詞作曲は専門家に依頼。

【吾妻小グループ】 公募して専門家に制作依頼

(意見) 公募はキーワードとワンフレーズ。作詞作曲は専門家に依頼。

【西中グループ】 公募して専門家に制作依頼

(意見) 公募はキーワードなど幅広く募集する。作詞作曲はダ・カーポなど西中学区にゆかりのある専門家。候補が出なかった場合は、市内で音楽活動を行っている人などに依頼する。

(部会長) 全グループの意見を確認すると公募する考えは一致している。公募の対象は校章と同様の集め方でよろしいか。

・全部会員の承認を得る。

(部会長) 公募の内容については、歌詞、キーワード、ワンフレーズなど幅広く募集し地域性を表すものを使用し制作していく。また、曲については、ダ・カーポなど西中学区にゆかりのある専門家に依頼することを念頭に置いた上で、それでも、決まらなかった場合は範囲を広げ、佐野市にゆかりのある専門家に依頼するという方向でよろしいか。

・全部会員の承認を得る。

(委員③) 校歌の公募は校章と同じ時期に行うか、それとも時期をずらして行うのか。

(事務局) 差し支えなければ、同じ時期に行いたいと考えている。

(部会長) 同じ時期に行うことでよろしいか。

・全部会員の承認を得る。

(部会長) 事務局より説明事項はあるか。

(事務局) 先ほど申し上げたとおり、事務局でアンケートの素案を作成し校長先生方に内容を確認していただく準備を進めていくことをご承知おきたい。

(3) 令和7年度の総務部会について

- ・事務局から資料3を基に説明。
- ・委員からの質疑はなし。

～議事終了～



	<p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体を通しての質疑。質疑なし。</li> <li>・事務局より連絡</li> </ul> <p>(事務局) 本年度の総務部会は今回で最後となる。次年度に役員改選等で交代される方は、資料3のとおり、引継ぎをお願いします。</p> <p>4 閉会</p>
--	--